

## 令和7年度第4回尾張旭市地域公共交通会議 会議録

### 1 開催日時

令和7年12月23日（火）

開会 午後2時30分

閉会 午後4時30分

### 2 開催場所

市役所 講堂2

### 3 出席構成員

松本 幸正、成瀬 史宣、水摩 憲生、外山、直生、高橋 芳江、渡邊 幸江、久米 裕之、横田 太、根岸 宗高、小林 裕之（代理：徳田 裕二）、横山 貴幸、若杉 将成（代理：轟 雄矢）、高井 勇輔（代理：下村 浩司）、原田 光一郎、石屋 義道（代理：森本 恒平）、羽地 敦、伊藤 秀記

計17名

### 4 欠席構成員

加藤 純丈

### 5 傍聴者数

4名

### 6 出席した事務局職員

都市計画課長	永尾 幸市
都市計画課係長	鵜飼 あづみ
都市計画課主査	青山 航
長寿課長補佐	秋山 さちこ
地域福祉課長補佐	森下 亜希子
瀬戸市都市整備部都市計画課係長	高橋 伸行
瀬戸市都市整備部都市計画課主任	三輪 航基

### 7 議題等

- (1) 尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について（報告事項）
- (2) 地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画の評価等結果について（協議事項）
- (3) 瀬戸市コミュニティバスこうはん線の「根の鼻町集会所」停留所の新設及び新設に伴う運行経路の変更について（協議事項）
- (4) デマンド交通実証実験の実施結果（速報）について（報告事項）
- (5) 市営バスにおける印場駅～愛知医大間試験運行の実施状況（速報）について（報告事項）
- (6) その他（報告事項）

### 8 会議の要旨

事務局（都市計画課長）	<p>本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、令和7年度第4回尾張旭市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>都市計画課の永尾と申します。よろしくお願ひいたします。本会議におきましては、会議を公開することとしていることから、傍聴を認めていることをあらかじめ御了承いただきますようお願ひいたします。</p> <p>本日の出席者の御紹介につきましては、時間の都合上、お手元に配布しております出席者名簿によりまして、御紹介に代えさせていただきますので、あらかじめ御了承願います。</p> <p>まず、議題に入る前に、2点御説明させていただきます。1点目として会議資料の確認をさせていただきます。事前に送付しました資料として、「次第」、「構成員名簿」、「配席図」、そして、参考資料「第1回地域公共交通会議以降の主な取組」、以降は議題番号に沿って資料1から資料5までとなっております。</p> <p>また、机上には、出席者等の変更がございましたので、「構成員名簿」、「配席図」を配布させていただいております。お手数ですが、差替えをお願いいたします。そのほか、机上配布の資料として、「年末年始試験運行のお知らせ」のチラシ、「デマンドタクシー利用案内」、「令和6年度尾張旭市営バス利用状況報告書」、「尾張旭市営バスあさぴー号ルートマップ・時刻表」、「瀬戸市公共交通マップ」、中部運輸局の資料として「道路運送法の改正（令和5年10月1日施行）」、名古屋鉄道株式会社の資料として「こどもmanacaおでかけキャンペーン第3弾」を配布しております。</p> <p>以上が本日の資料ですが、不足等はございませんか。</p> <p>次に、2点目として、参考資料の「第1回地域公共交通会議以降の主な取組」を御覧ください。</p> <p>第1回の会議以降の主な取組が記載しておりますので、御覧いただきたいと思います。ここでは、表に太枠で囲ってある地域公共交通会議及び地域公共交通運賃料金協議会の開催実績について、書面開催であったこともありますので、改めて報告させていただきます。</p> <p>2つ目の太枠、10月16日の第2回地域公共交通会議を御覧ください。ここでは、協議事項「デマンド交通実証実験の期間延長について」の承認をいただきました。当初の10月31日から、1か月延長とし、11月30日まで実施いたしました。</p> <p>次に、その下の太枠、11月26日の第3回地域公共交通会議及び第1回地域公共交通運賃料金協議会です。ここでは、雁又川河川改修工事に伴う市営バスの停留所一時移設と迂回運行に関する内容を協議事項としており、承認をいただきました。</p>
-------------	--

	<p>また、第1回地域公共交通運賃料金協議会につきましては、本日の議題の(1)「尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について」で詳細を報告させていただきます。</p> <p>以上のように、第1回会議以降に書面で第2回と第3回の会議を行ったことに伴い、本日の会議が第4回目となっております。</p> <p>また、その他の取組につきましては、資料記載のとおりでございます。</p> <p>「第1回地域公共交通会議以降の主な取組」の説明は以上です。</p> <p>これで、私からの説明は以上となります。</p> <p>それでは、以後の会議の進行につきましては要綱第4条第2項により松本会長にお願いしたいと思います。松本会長、よろしくお願ひいたします。</p>
松 本 会 長	<p>それでは、ここから私が進行させていただきます。皆様、御協力よろしくお願ひいたします。お手元の次第に従って進めてまいります。</p> <p>まずは議題の(1)、「尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について」、御説明をお願いいたします。</p>
事務局（都市計画課係長）	<p>まず、議題の(1)「尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について」の資料説明に入る前に、中部運輸局愛知運輸支局の原田様より、改めて運賃料金協議会の役割や地域公共交通会議との関係性について御説明いただきます。原田様、よろしくお願ひします。</p>
原 田 構 成 員	<p>&lt;配布資料「道路運送法の改正（令和5年10月1日施行）」を基に運賃料金協議会について説明（省略）&gt;</p>
事務局（都市計画課係長）	<p>ありがとうございました。それでは、議題(1)の資料説明をさせていただきますので、資料1-1を御覧ください。</p>
事務局（都市計画課主査）	<p>それでは、議題(1)「尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について」御説明します。</p> <p>&lt;資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4に基づき説明（省略）&gt;</p>
松 本 会 長	<p>議題(1)の「尾張旭市地域公共交通運賃料金協議会での協議結果について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>原田さん、運賃の協議について、どこから独占禁止法に抵触するという指摘があったのでしょうか。</p>
原 田 構 成 員	<p>以前から、本省で独占禁止法に抵触するのではないかという懸念があり、鉄道及びタクシーにおいて協議運賃制度が創設されたのですが、タクシーは事業者が多く、特にカルテルの危険性があるということで、そ</p>

	れと合わせる形で一般乗合旅客自動車運送事業についても整理を行つたと聞いています。
松 本 会 長	<p>尾張旭市の場合は、このままの運賃ということで書面協議にて決議された結果の御報告ということで御承知いただければと思います。</p> <p>それでは、続きまして協議事項となっています議題の(2)「地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画の評価等結果について」に移りたいと思います。事務局から説明してください。</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、議題(2)「地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画の評価等結果について」御説明します。</p> <p>&lt;資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料2-4に基づき説明(省略)&gt;</p>
松 本 会 長	<p>議題(2)の「地域公共交通確保維持改善に関する事業評価及び地域公共交通計画の評価等結果について」の説明がありましたが、これは補助制度に関するものですので、多少難解な部分があるかと思います。それも含めて御意見、御質問いただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>尾張旭市営バスの東ルートと西ルートが国の補助路線となっていますが、資料2-2に、利用促進を含めて事業が計画どおり行えたかということを自己評価して、次年度どうするかという方針が記載されています。3ページでは、取組内容について、令和6年10月から令和7年9月までに、色々な取組を行ったということを御確認いただければと思います。実施結果としては、実績値等々も記載されています。4ページでは、目標の達成状況の記載があり、利用者数については目標を達成できました。一方で、収支改善率は残念ながら経費等々の増加があり達成できませんでした。ではどうするのかという方針が5ページに記載されています。利用者数は引き続き、利用促進を図り、収支改善率は、運行経費の妥当性等の検討を実施することと、利用者の増加を図って収支改善を目指します、という内容となっています。この内容がふさわしいのかどうかを会議体として、皆様に御検討いただくこととなります。</p> <p>もう一つは、資料2-4ですが、これは尾張旭市の地域公共交通計画全体について、1年ごとに評価するものです。この1年、計画に基づいて取組を行えたか、問題はないかという確認です。4つの目標がありますが、全て順調に推移となっていまして、次年度に向けた取組としましても、これまで同様に継続していきます、との旨の内容です。</p> <p>ちなみに、この中に新規に実施予定のもの是否有りますか。</p>

事務局(都市計画課長)	次年度、新規に実施予定の事業はありません。
松 本 会 長	順調なので、これまでどおりで良いと思います。 何か御意見はありますでしょうか。
石 屋 構 成 員 (代理:森本)	<p>愛知県交通対策課の森本と申します。よろしくお願いします。2点ありますて、1点目は、資料2-2の3ページに記載がありますが、尾張旭市様には、昨年度、県事業であるチョイソコセとあさひ実証実験に御参加いただきありがとうございました。実施結果・今後の方針として、「実施結果を基に、利用状況の分析を行い、今後の公共交通施策について検討する。」との記載がありますが、今日の議題となっている、瀬戸市コミュニティバスこうはん線のバス路線改変についても、この事業の成果を御活用いただいたものかと思いますので、瀬戸市様の内容ではありますが、成果として書いていただいてもいいのかなと思いました。</p> <p>2点目は、少し難しい話で申し訳ないですが、地域間幹線系統について御説明いただきましたが、実は、尾張旭市様はもう2路線、地域間幹線系統として国の補助を受けている路線があります。一つは愛知医科大学病院線と言いまして、南北に、向ヶ丘から晴丘を通って愛知医科大学病院まで行く路線、もう一つが本地ヶ原線と言いまして、東西に、藤が丘から本地ヶ原を通って瀬戸駅まで行く路線があります。この2路線の評価内容が資料に出てこなくていいのかという話についてですが、事業者さんの路線ということで、愛知県にて、この会議と同様の会議体である愛知県公共交通協議会にて協議し、手続を行います。この2路線についても、御承知置きいただければと思います。また、この2路線の評価に関しても、数値等は順調に推移しています。以上です。</p>
松 本 会 長	ありがとうございました。まず1点目についてはいかがでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	この後の議題で説明いたしますが、瀬戸市コミュニティバスの本市への乗入れについては、チョイソコセとあさひの実施により、市域をまたぐ移動の需要が分かった結果、実施することとなりましたので、成果の内容として資料に盛り込むよう工夫したいと思います。
松 本 会 長	デマンド交通実証実験は、チョイソコセとあさひと重複して実施した地域もありますよね。実際に実施していますので、「新たな取組を実施する。」と、もう一步踏み込んだ表現とするのが良いのではないでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	そのように記載させていただきます。
松 本 会 長	それから、2点目については、森本さんがおっしゃったとおりで、尾張旭市に関連するものとして、名鉄バスさんの2路線も補助をもらっています。ただし、それは県の方から申請していただいているので、今回

	は皆さんに御報告していませんが、資料2－2の2ページの図を見ますと、この「基幹路線（補助路線あり）」、すなわちバックにグリーンの線が入っている部分が、名鉄バスの路線ということですね。一方で、尾張旭市営バスの東ルート、西ルートの路線は入っていないのでしょうか。
事務局（都市計画課長）	地域交通として、市域全体に薄く青色が付いている部分が市営バスあさぴ一号を示しています。
松 本 会 長	一般的には、図に補助対象路線を示すようにと言われますが、今後の愛知運輸支局とのやりとりで、どの路線が補助対象となっているかを明示するよう指摘があった場合には、修正していただくということでお願いしたいと思います。 その他、御意見はありますでしょうか。
小林構成員 (代理:徳田)	愛知県バス協会です。今日は代理出席ですので、今までに整理がされていれば申し訳ないですが、資料2－4の目標の中の評価指標の記載で、名鉄瀬戸線各駅での公共交通の利用者数というのは、名鉄瀬戸線の駅の利用者ということでおよろしいですか。駅に接続しているバス路線もあるので、この書き方では、電車とバス両方を合わせたように受け止められてしまうと思いましたので、各駅の利用者数とすべきであり、公共交通という言葉を入れる必要はないかと思います。
事務局（都市計画課係長）	駅に接続しているバス路線の利用者数も含まれています。
松 本 会 長	表現としては正しいということですね。 その他、御意見、御質問はありますでしょうか。  (発言なし)  それでは、資料2－2の3ページの上から2行目、実施施策の新たなモビリティサービスの導入における実施結果・今後の方針の内容に関しては、「実施結果を基に、利用状況の分析を行い、今後の公共交通施策について検討する。」という表現でしたが、実際にはデマンド交通実証実験を始めていますので、「利用状況の分析を行い、新たな取組を実施する。」という内容に修正させていただきます。そして、同じく資料2－2の2ページの図に関しては、場合によっては差し替えさせていただきますが、内容が変わるものではないということで御承知置きいただきたいと思います。 また、この後、愛知運輸支局と調整した結果、数字や文言の修正等については事務局に一任し、この内容について、我々、尾張旭市地域公共交通会議全体で評価した結果として御承認いただいたということで、御異議ございませんでしょうか。

	<p>(全員異議なし)</p> <p>ありがとうございました。それでは、御承認いただけたということで国への手続を進めてください。</p> <p>それでは、続きまして協議事項となっています議題の(3)「瀬戸市コミュニティバスこうはん線の「根の鼻町集会所」停留所の新設及び新設に伴う運行経路の変更について」に移りたいと思います。事務局から説明してください。</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、議題(3)「瀬戸市コミュニティバスこうはん線の「根の鼻町集会所」停留所の新設及び新設に伴う運行経路の変更について」御説明します。資料3-1を御覧ください。資料上段に記載の協議内容です。本協議は、瀬戸市コミュニティバスこうはん線において、尾張旭市の根の鼻町集会所に瀬戸市コミュニティバスの停留所を新設するとともに、新設に伴い運行経路を変更することについて協議するものです。</p> <p>協議内容の詳細は、瀬戸市都市計画課より御説明いただきます。それでは、お願ひいたします。</p>
事務局(瀬戸市都市計画課係長)	<p>瀬戸市都市計画課の高橋と三輪です。本日は、よろしくお願ひいたします。今回、尾張旭市さんに、瀬戸市のコミュニティバスこうはん線を乗入れさせていただくということで、瀬戸市コミュニティバスの概要について御説明させていただきます。お手元に配布しました瀬戸市の公共交通マップを御覧いただければと思います。</p> <p>瀬戸市におきましては、コミュニティバスが市内に8路線運行しております。今回の対象になります路線が、このマップの西側にオレンジ色で示したこうはん線という路線になります。こうはん線は、市内の8路線の中でも非常に利用者の多い路線で、年間約3万人強の利用者があります。また、イオン瀬戸みづの店、水野駅、陶生病院といった商業施設や医療施設等を結ぶ基幹的な路線になっております。こちらの路線につきまして、特に市境周辺の瀬戸市民の方から、尾張旭市への乗入れに関して、三郷駅を含めた移動への需要があります。このような理由で、今回は尾張旭市への乗入れについて協議させていただきます。詳細は、担当者から説明させていただきます。</p>
事務局(瀬戸市都市計画課主任)	<p>それでは、協議内容の詳細について御説明します。</p> <p>&lt;資料3-1、資料3-2、資料3-3に基づき説明(省略)&gt;</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>続いて、尾張旭市都市計画課から説明をさせていただきます。資料3-1の7、その他を御覧ください。今回の瀬戸市コミュニティバスの乗入れに伴い、尾張旭市営バスの路線やダイヤ、停留所位置等の変更はありません。</p>

	議題(3)「瀬戸市コミュニティバスこうはん線の「根の鼻町集会所」停留所の新設及び新設に伴う運行経路の変更について」の説明は以上です。
松 本 会 長	議題(3)の「瀬戸市コミュニティバスこうはん線の「根の鼻町集会所」停留所の新設及び新設に伴う運行経路の変更について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。
成瀬 副会長	ひまわり福祉会の成瀬です。よろしくお願いします。両方の市をまたぐ運行ということで、利便性が高まることが期待されますが、尾張旭市営バスから、瀬戸市こうはん線に乗るため、乗継ぎへの待ち時間として、どれくらい待つ必要がありますか。
事務局（都市計画課係長）	資料3－2の裏面を見ていただきますと、こうはん線の運行ダイヤという見出しがあり、こちらに瀬戸市こうはん線の令和8年度新ダイヤ案が書いてあります。赤字箇所に、新設される根の鼻町集会所のダイヤを示しています。その下の赤枠のところに、あさぴー号の根の鼻町集会所の時刻表が抜粋されています。尾張旭市から瀬戸市さんの方へは、便によっては20分くらいで乗継ぎできるものもありますが、1時間程度掛かってしまう場合もあります。あさぴー号の東ルートの11時32分着の便に乗ると、こうはん線の3便が根の鼻町集会所へ11時53分着となっていますので、大体20分くらいで乗継ぎができるかと思います。
松 本 会 長	尾張旭市からは、陶生病院とイオン、どちらに行く方が多いですか。
事務局（都市計画課係長）	陶生病院への移動が多いです。
松 本 会 長	陶生病院は午後も診察を行っているのですか。
事務局（瀬戸市都市計画課係長）	午後も行っています。
松 本 会 長	13時42分着で、13時57分発というものがあり、他にも何本か乗継ぎ可能な便がありそうですね。右回り、左回りのどちらで来るのかという都合もありますが、一番嫌なのは、着いたら直前に出発しているような便です。その場合は、ダイヤを多少見直してもらうと良いと思いますが、ざっと見たところ、そういうものはなさそうですね。そこは工夫していただいているのかと思います。 その他、御意見、御質問はありますでしょうか。
小林構成員 (代理:徳田)	愛知県バス協会です。今回のバス乗り入れの目的が、尾張旭市民の方がこうはん線に乗って陶生病院等の瀬戸市の施設に行きやすくなりますよ、ということであるとした場合について伺います。根の鼻町集会所の一つ北側に、旭台第1号公園北のバス停があります。そこには、こうはん線が通るようになりますので、仮にここでも乗り降りができたら、この近くの人にとってはより利便性が上がると思います。停留所が置か

	れない理由として、尾張旭市の中で、瀬戸市のバスに乗降できてしまうと何か問題があるのか、あるいは、定期券や回数券の関係で、誤乗の恐れがある等、御検討されたことがあれば、お聞かせください。
事務局(都市計画課係長)	資料3-3の図を見ていただきますと、ちょうど赤色と水色の線が同時に通るところに、青い点が2か所あります。こちらが、尾張旭市営バスの旭台第1号公園北停留所です。今回の瀬戸市さんの乗り入れに関しては、ここに停留所は設けませんので、通過となります。ただ、地域の方々にとって、ここを通るのであれば停留所が欲しい、というお声はいずれ出てくるのではないかと思っています。今回は、設置の予定はないとお伺いしていますので、そういった御要望があった際には、改めて瀬戸市さんと協議させていただきたいと思います。
松本会長	それは尾張旭市からは御要望としてお伝えしていないですか。
事務局(都市計画課係長)	こうはん線がこのルートを通過する、恐らく地域の方からは停留所設置の要望があるだろうということは、あらかじめお伝えしています。
松本会長	どれくらい利用が見込めるかも分からないので、ひとまずは根の鼻町集会所のバス停新設だけに留め、様子を見るということですね。その他、御意見、御質問はありますでしょうか。
横山構成員	瀬戸市さんと尾張旭市さんから説明していただいたとおり、三郷から陶生病院へ行くという需要がとても多いです。それに応えて、今、タクシーはもう配車が追いつかない程の状況です。こうはん線が尾張旭市営バスと接続することによって、尾張旭市民の方の移動が便利になることを楽しみにしています。また、こうはん線は新瀬戸駅にも停まりますので、愛知環状鉄道との接続ができます。愛知環状鉄道も利用しやすくなり、尾張旭市さんの間口が広がってくるのではないかと思います。 タクシー事業者の立場として、タクシーのお客さんがなくなるのではないかとか、タクシー経営への懸念に関してお話をすると、このエリアの8割程度は私どもの会社のシェアでして、今もタクシーが足らず、お客様に御迷惑をかけている状況であり、移動に困られている方が多くいらっしゃると思いますので、こうはん線の尾張旭市の乗り入れについては、むしろ良いことではないかなと思います。
松本会長	ありがとうございます。チョイソコでこれだけ利用があったということは、チョイソコがないときは、その方々は通常のタクシーを利用していた可能性があります。そこに新しく尾張旭市にバスが来ると、バスの利用に転換されてしまうという恐れがあり得ますが、幸いタクシーの供給が足りない状況なので、バスを利用してもらえると、かえってタクシー事業者としては助かる部分があるということですね。 また、朝のピーク時はタクシーが使えなくとも、帰りはタクシーを利用するという方法もありますし、行きか帰りで、乗継ぎの都合が良い方

	<p>はバスを利用し、その逆はタクシーを利用するということもあるでしょう。さらには、タクシーをオフピークで使ってもらえば、言うことなしですね。</p> <p>運賃は、双方とも100円ということですが、尾張旭市のバスから尾張旭市のバスに乗り継いだ場合は、運賃割引はどのようにになりますか。</p>
事務局(都市計画課係長)	乗継ぎに対する運賃割引はありません。
松 本 会 長	瀬戸市さんはどうですか。
事務局(瀬戸市都市計画課係長)	同じくありません。
松 本 会 長	<p>その点は両者共通していて良いですね。</p> <p>その他、御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>今回の内容は、尾張旭市にとってもありがたいことだと思います。それでは、本議題に関して、御了承いただけたということで進めさせていただきたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。</p> <p>(全員異議なし)</p> <p>御異議もないようですので、手続をお進めください。あとは是非、尾張旭市でもしっかりと周知していただければと思います。また、尾張旭市のあさぴー号のことを瀬戸市さんにも宣伝いただき、瀬戸市のコミュニティバスも尾張旭市に宣伝いただくことで、お互いに協力して利用促進ができるようお願いします。</p> <p>こちらは、G T F Sによる経路検索はできますか。</p>
事務局(都市計画課係長)	検索できます。
松 本 会 長	瀬戸市もできますか。
事務局(瀬戸市都市計画課係長)	検索できます。
松 本 会 長	<p>では、尾張旭市営バスと瀬戸市こうはん線の乗継ぎを含めた経路が検索できるので、すごく便利だと思います。例えば、瀬戸市の方が、御自宅からシーナシーナを行先に経路検索することもできます。</p> <p>それでは、続きまして、報告事項となっています議題の(4)「デマンド交通実証実験の実施結果(速報)について」に移りたいと思います。事務局から説明してください。</p>

事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、議題(4)「デマンド交通実証実験の実施結果(速報)について」御説明します。</p> <p>＜資料4に基づき説明(省略)＞</p>
松 本 会 長	議題(4)の「デマンド交通実証実験の実施結果(速報)について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。
事務局(都市計画課長)	<p>一つ補足としてお話させていただきます。本事業において、タクシー事業者の皆様には大変お世話になりました。また、事業の開始に当たり、各種手続に際して、バス事業者様や愛知運輸支局の方々、警察の方々には、時間のない中で御協力いただき、本当にありがとうございました。また、今後について、これから検討していきたいと思いますので、本日は皆様の御意見をお聞きかせいただければと思います。</p>
松 本 会 長	<p>実証実験とは言いつつも、色々な方々の協力で実現し得た、ということを我々は認識しないといけないということです。</p> <p>何か御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
横 田 構 成 員	豊栄交通です。今回、速報ということですが、例えば、利用実績において、北東部と南西部の延べ利用回数に差がありますが、これは予想していたのか、あるいは想定外だったのか、市の評価として現時点のお考えがあれば、お聞かせいただけますか。
事務局(都市計画課係長)	<p>これからアンケート調査の取りまとめを行うところで、詳細については分析結果次第ではありますが、延べ利用回数のところで、北東部が528回に対して、南西部が91回と、かなり差が出たことについては意外な結果でした。どちらの地区も、坂道が多い等、地形的な条件によって移動に困難を抱えている方が多いと思われますが、南西部で利用登録された方からは、「行きたいスーパーが運行エリアより南側にあるので、もう少し南の方まで行けたら良い。」との御意見がよく聞かれたので、利用登録人数に対して、延べ利用回数で差があった理由の一つとして、運行エリアの区域設定の影響があったのではないかと考えています。</p>
横 田 構 成 員	利用登録者142名に対して、利用回数総数619回というのは実績値として良好であったとお考えですか。
事務局(都市計画課係長)	利用登録者と利用回数については、8月の出だしが伸び悩み、9月から伸びていったという状況もありますので、最初の8月の時点で10月や11月ぐらいの数値であると良かったかなと思います。今回は、私どもとして初めての事業であったこともあり、利用回数がどれくらいあれば良かったのかということについては、今後分析していきたいと思います。
横 山 構 成 員	名古屋タクシー協会の横山です。デマンド交通実証実験に参加した事

	業者でもあるので、その感覚から報告させていただくと、このようなデマンド事業では、いつも周知の難しさが課題となる中で、毎日デマンドの利用数が増えている実感があり、たった4か月でこの伸び率というものは、私どもとしても正直驚いているところです。また、運行エリアがかなり限られている中で、これだけの移動の需要があったということは、少しの距離でもタクシーを使わないと移動が難しい方が増えてきているということを、改めて実感しました。
松 本 会 長	本当に後半の伸びがすごいですよね。これが、今まで使っていない人が使いだしたのか、あるいは、繰り返し使っている人なのか、そういうところを検証すると良いと思います。恐らく、一度使ってみた人が、「これ便利じゃん、使えるよね。」ということで、繰り返し利用していたんだろうと想像します。南西部に関しては、生活圏が異なっていたため、運行エリアがニーズに合わなかつたかもしれません。北東部は、シーナシーナへも行けるということで、良かったのかと思います。
事務局（都市計画課長）	尾張旭市の立地的な要因から考えると、矢田川を境に南北が分断されているため、南西部の方々が普段買い物へ行くところは、もう少し南の方が多いと想定されますので、運行エリアがニーズに合わなかつた可能性はあります。
水 摩 構 成 員	旭丘連合自治会の水摩です。私の地域では非常にたくさん利用させていただいて、ありがとうございます。こんなに需要があるとは、私も思っていませんでした。また、期間延長を経て、さらに利用が伸びたという感触を得ております。私どもからのお願いですが、今回、北東部の対象地区は旭ヶ丘町の北部まででしたので、旭ヶ丘町山の手まで入れていただくと、より需要が伸びるのではないかと感じます。旭ヶ丘町山の手は非常に交通の便が悪く、高齢者の足だと駅まで30分掛かります。あさぴー号が近くを運行していますが、やはり本数が少ないという問題もあって、このようなデマンドタクシーがよく利用されたのではないかと推測しています。今後、この事業については、続行していくのか、あるいは地域を広げるのか、あるいはやめてしまうのか、気になるところでですので確認させていただきたいと思います。
事務局（都市計画課長）	まず、旭ヶ丘町山の手エリアについては、今回は残念ながら対象地区に入っておりませんでしたが、この地区の方が交通に不便を抱えているというのは、こちらも認識しております。今後は、今回のデマンド交通実証実験やチョイソコセとあさひ、尾張旭市営バスの試験運行等、色々な取組を実施してきた中で、本市の地域公共交通全体をどのようにしていくかを冷静に検討しなければならない時期に来ています。全てを実施できれば良いですが、予算のこともありますので、折り合いを付けながら、考えていきたいと思っております。

	また、今回は速報という形で御報告させていただきましたが、次回の会議で、今後の方針について、もう少し踏み込んでお話しできればと思います。
松 本 会 長	立ち止まって考えるのは大事ですが、立ち止まり続けられると住民の方々は失望してしまうので、ある程度、いつぐらいまでに方向性を示すのか、目途を付けるよう、庁内で検討していただくと良いですね。
伊 藤 構 成 員	今回の実証実験は、既存の公共交通への配慮のため、エリアを絞って実施するものでした。各交通事業者様には、実証実験の期間中に、利用状況に影響があったかについて、肌感覚で構いませんので、感想をいただければと思います。
松 本 会 長	実証実験の実証項目の一つとして、他交通手段への影響を計測することになっていたと思いますので、まだ具体的な数値としては出ていないかもしれません、肌感覚で状況を教えていただければと思います。まず、名鉄バスの久米さん、お願ひします。
久 米 構 成 員	名鉄バスの久米でございます。実証実験期間中の利用状況については、現在確認を進めているところです。一般的に、コロナからの回復期ということもあり、影響が読みづらいというのが実際の状況ですが、数字を見ている中で、大きな変化は出でていないだろうという感覚ではあります。ただ、停留所ごとに見ていくと、どうしても数字が合わないところがいくつかありますので、引き続き検証をしていきたいと考えています。 あわせて、尾張旭市さんにお願いしたいのは、利用人数や利用回数のほか、利用された方がどの場所からどの場所まで行かれたか、どの場所への移動が多かったのか、ということも示していただけると、弊社でも分析がしやすくなると思いますので、情報共有いただきますようお願ひします。
松 本 会 長	名古屋市交通局さん、いかがですか。
根 岸 構 成 員	名古屋市交通局です。この実証実験に対する明確な影響というのは、なかなか分かりづらいというところが実感です。名鉄バスさんもおっしゃるように、コロナが明けてから、徐々に乗車人数は回復傾向にありますので、それと今回の実験がどのように絡んでいるかが、読みづらいところです。私どもで把握している限りでは、名古屋市営バスの利用状況について大きな変動が確認できる情報は今のところありません。
松 本 会 長	タクシーへの影響はいかがでしたでしょうか。
横 山 構 成 員	タクシーについては、弊社の既存のお客様がそのままデマンドを利用するようになったということが多かったです。私どもで持っているデータもありますので、今後詳しく検証をしていく必要があると感じています。価格は全然違いますが、これをきっかけに、「タクシーは便利だか

	ら乗ろう。」という方が増えれば良いと思います。
松 本 会 長	タクシーの利用は、むしろ増えているということはないでしょうか。利用者としてはタクシーより安いのでより一層使う、タクシー事業者としては収入は変わらないので、プラスになったのではないですか。
横 山 構 成 員	おっしゃるとおりです。ありがとうございました。
松 本 会 長	今まで出掛けていなかった方が、「タクシーが安く使えるから出掛けよう。帰りは予約が取れなかったからバスで帰ろう。」という形で、公共交通の利用が増えることが理想的だと思います。 あさぴー号はいかがでしたか。
横 田 構 成 員	先程、横山さんがおっしゃったとおり、元々タクシーを利用されていた方が、主にデマンドを利用されているということで、あさぴー号に乗られていた方からの移行は少ないかもしれません。ただ、デマンドの影響であさぴー号の利用が減った部分もあるとは思いますが、把握はできません。
松 本 会 長	アンケートで、デマンドタクシーを利用する前の交通手段については聞かれていますか。
事務局(都市計画課係長)	他公共交通機関の利用頻度の増減について、デマンドタクシーを利用する前と比べてどうであったか、質問項目を設けています。また、タクシーについては、利用しやすくなかったかをお聞きしています。
松 本 会 長	その辺りの回答結果が出てくることで、影響が明らかになると思いまので、楽しみにしたいと思います。市としましては、ODを含めたデータをこれから整理していただいて、皆さんと共有いただきたいと思います。各交通事業者さんにおかれましても、是非データを御提供いただき、会議の場で、その影響を検討することが何より大事だと思います。会社の方針等の事情で、提供しにくい情報もあると思いますが、やはり皆さんとともにデータを検証することは、とても大事なことだと思いますので、そのような意見があったことを各社でお持ち帰りいただき、是非御協力いただきますようお願いします。 その他御意見、御質問はありますでしょうか。
	(発言なし)
	このようなラストマイル、ラストクオーターマイルに対する移動手段の提供や少量輸送は、色々な自治体で非常に重要になってきていますので、尾張旭市民の方々にとっても期待が高いと思います。できるだけ方向性を早めに御検討いただくと良いですね。
	それでは続きまして、報告事項となっています議題の(5)「市営バスにおける印場駅～愛知医大間試験運行の実施状況(速報)について」事務

	局から説明してください。
事務局(都市計画課主査)	それでは、議題(5)「市営バスにおける印場駅～愛知医大間試験運行の実施状況(速報)について」御説明します。  <資料5に基づき説明(省略)>
松 本 会 長	議題(5)の「市営バスにおける印場駅～愛知医大間試験運行の実施状況(速報)について」の説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。
小林構成員 (代理:徳田)	愛知県バス協会です。非常に利用が旺盛だということで、ある意味では嬉しい話かなと思います。資料に、試験運行便の利用者数について記載がありますが、試験運行便を開始する前の1便の利用者数と、試験運行便を開始してからの、試験運行便と1便の利用者合計数を比較した場合、純増で上積みされてきたのか、ある程度分散されてはいるが、特定の日だけ1便に利用者が集中して乗りこぼしが出てしまうのか、その辺りはどうでしょうか。
事務局(都市計画課長)	まだ詳細な分析はしていませんが、肌感覚としては、1便の利用者が試験運行便に移行したというのが予想外に少なく、純増がほとんどという印象です。先程の御説明のとおり、乗りこぼしが減っていないどころか、逆に増えたというような結果になったのかなと思います。
小林構成員 (代理:徳田)	病院に8時半頃に到着できるのは、ゴールデンタイムですので、利用者にとっては「良いダイヤができたな。」ということかと思います。元々の1便だと、9時半頃の到着ですから、少し遅い印象です。そのような側面を見ると、新たな需要を掘り起こせたということで、一つの成果であると思います。
松 本 会 長	ありがとうございます。しかし、本来の目的としては、意味がなかつたかもしれないということですね。  病院へ行くことも必要ではありますが、病院ばかりでなく、もっと遊びに行ってもらうことが増えれば喜ばしいですね。  その他、御意見、御質問はありますでしょうか。
横田構成員	運行事業者としましては、全体の運行回数や時間が伸びていくことは、苦しい状況となります。この試験運行の結果をしっかりと踏まえた上で、需要が多いところに便を出し、逆に、乗車人数の少ない便を減らすことも想定して、上手にやりくりができれば本当に良いと思います。
松 本 会 長	確かにそうですね。仮に試験運行便を本格化するのであれば、ドライバーさんことを考慮すると、代わりにどこかの便を削ることも必要だということですね。  その他、御意見、御質問はありますでしょうか。 (発言なし)

	<p>今回は結果の速報で、この先についてはこれから検討を行うということです。昨年度の段階では、効果がありそうでしたが、どうもそうではないという状況の御報告でした。</p> <p>それでは続きまして、議題の(6)「その他」に移りたいと思います。事務局から説明してください。</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>その他の報告事項として、「市営バスにおける年末年始試験運行について」、「名鉄瀬戸線鉄道高架化事業について」、「冬休み子ども応援施策について」の計3点について、順に御報告いたします。</p> <p>1点目は市担当者より報告いたします。</p>
事務局(都市計画課主査)	<p>それでは、報告事項の1点目、「市営バスにおける年末年始試験運行について」御説明いたします。</p> <p>&lt;年末年始試験運行のお知らせチラシに基づき説明(省略)&gt;</p>
事務局(都市計画課係長)	<p>続きまして、報告事項の2点目の「名鉄瀬戸線鉄道高架化事業について」、3点目の「冬休み子ども応援施策について」、名古屋鉄道株式会社の下村様より御説明をお願いいたします。</p>
高井構成員 (代理:下村)	<p>名古屋鉄道の下村でございます。弊社の名鉄瀬戸線鉄道高架化事業について、報告させていただきます。名鉄瀬戸線の喜多山駅付近の鉄道高架化工事事業は、事業主体である国土交通省様、名古屋市様と協力して平成26年から工事を進めてまいりました。令和4年の3月に栄町方面の上り線、高架運行開始に続きまして、本年の7月26日から、尾張瀬戸方面の下り線を高架に切り替えて現在運行しているところです。この事業は、名鉄瀬戸線の小幡駅から大森金城学園駅前付近までの1.9キロ立体高架のため、その区間の踏切を除去し、弊害であった名鉄瀬戸線と瀬戸街道を交差していた国道302号を含む12か所の道路と側線を整備するものです。この立体高架化により、車や人の流れがスムーズとなり、交通渋滞の緩和、踏切事故防止、また、線路によって分断された地域が一つになることで、街全体の機能向上に関して多くの効果が期待されます。7月26日の下り線の高架化切替え後には、本事業区間内の全9か所の踏切除去を行い、現在、令和8年度の事業完了に向けて、地上の仮線の撤去や、高架副本線の整備を進めているところです。また、高架下の公共的空間等の活用については、円滑な利用開始を見据え、地域の皆様の御意見を踏まえつつ、引き続き、名古屋市様等の関係機関と連携し、具体的な検討を進めているところです。</p> <p>続きまして、冬休み子ども応援施策について報告させていただきます。皆様に資料を配布させていただいておりますが、昨日12月22日にリリースしております「こどもmanacaおでかけキャンペーン第</p>

	<p>3弾」としまして、冬休み期間中のキャンペーンを実施しております。開催期間は、本年12月24日から来年の2月28日まで、対象は、小児用manacaを使用した小学生以下のお子様に限定させていただいております。内容としましては、名古屋鉄道、豊橋鉄道様、名鉄バス等において小児運賃の一部をマイレージポイントに還元するもので、名古屋鉄道は1乗車当たり200ポイント、豊橋鉄道様は100ポイント、名鉄バス等は200ポイントの還元ということで、実施しております。事業の目的と背景としましては、愛知県、岐阜県では公共交通の利用が少なく、自家用車が強い地域ですので、幼少期から公共交通に親しむ機会の提供を目的として、このようなキャンペーンを実施させていただいております。第1弾、第2弾と実施してきて、今回は第3弾の実施ですが、この時期になりますと、小児用manacaを購入される方が例年より増えているという状況です。ポイント還元の詳細としましては、利用実績に応じて、翌月下旬にマイレージポイントが付与されます。詳しいお問合せにつきましては、名鉄お客様サポートセンターにて御案内させていただいております。地域貢献の一環として、このキャンペーンを実施をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。簡単ではありますが、説明は以上です。</p>
事務局（都市計画課係長）	この事業につきましては、名鉄バス様も参加されていますので、よろしければ、久米様からも御案内いただければと思います。
久米構成員	名鉄バスでございます。名古屋鉄道様から御説明がありましたように、当キャンペーンに弊社も参加させていただいております。先程の御説明のとおり、名鉄バスでは一乗車当たり最大200ポイントの還元を行っております。こちらは小児用manacaを御利用の方に限りますので、窓口等で小児用manacaをお作りいただく必要があります。また、ポイントに関しましては、利用された月の翌月末までに付与されます。そちらを自動券売機等で還元手続していただくことでポイントを得られますが、ポイント還元された残高を利用して乗車された場合、還元対象になりませんので、できればこの期間中は、manacaに現金を入金して使っていただき、キャンペーンが終わってからポイントを還元して使っていただくとお得になりますので、よろしくお願ひします。
事務局（都市計画課係長）	ありがとうございました。その他報告事項に関する説明は以上です。
松本会長	<p>尾張旭市内では名鉄瀬戸線で使えますので、御周知いただき、是非御利用いただければと思います。ポイントは2月28日以降に還元するということで、お子様に使っていただくと良いと思います。</p> <p>また、名鉄さんは、毎年このキャンペーンをやっていただいてとてもありがたいと思いますが、利用状況等の実績も御報告いただければと思</p>

	います。例えば、2月中は小児用m a n a c aの利用が増えたり、売上が増えた等があれば、お教えいただきたいです。
高井構成員 (代理:下村)	具体的な数値は確認していませんが、名鉄瀬戸線の有人駅9駅にて小児用m a n a c aを販売しており、この時期になると販売数が約1.5倍になるということですので、御好評をいただいていると思います。
松本会長	好評ということが分かれば、市としても、色々なところで協力する体制もできるかと思います。是非、利用状況等の数値を御報告いただくよう、本社にお伝えください。
高井構成員 (代理:下村)	細かい数字が分かりましたら報告させていただきます。
松本会長	是非お願いします。 それでは、続きまして次第3「連絡事項」に移りたいと思います。何か連絡事項等はございますでしょうか。  (発言なし)  事務局からは何かありますでしょうか。
事務局(都市計画課係長)	事務局から、次回の地域公共交通会議の予定について、御案内いたします。次回の会議は、年明けの3月27日の金曜日、午前10時からの開催を予定しております。別途、通知文を送付いたしますので、そちらでも御確認ください。事務局からは以上です。
松本会長	最後に、公募委員のお2人から一言ずついただきたいと思います。
高橋構成員	車の免許返納を考える時期になってきておりますので、デマンドタクシーが自分の地域で利用できると嬉しいなと思います。あさぴー号はありますが、停留所まで結構距離がありますので、少し不便に感じます。また、乗り遅れる心配もあります。
渡邊構成員	今後、デマンドタクシーやこうはん線への乗換え等、交通手段が増えれば、将来的に安心かなと思います。また、このような会議に出ることで、社会勉強になりますし、交流の場として良いなと思います。各交通事業者様には、御尽力いただいて、先程御紹介いただいた、こどもm a n a c aのキャンペーンのような出掛けるきっかけ作りというのを本当に大事だなと思いました。
松本会長	ありがとうございました。こどもm a n a c aのキャンペーンに関連した話として、静岡県では12月の土日の2日間、小学生バス無料デーがあり、バス全線が無料になります。また、今回はJR東海さんの協力により、JR東海の路線で子ども料金が100円引きになりました。さらに、その日に子ども向けのイベントが色々なところで実施されました。これが重要なと思います。名鉄さん、こどもm a n a c aのキャンペ

	ペーンをやる際には、子ども向けのイベントも開催できるようお声掛けいただきたいと思います。
高井構成員 (代理:下村)	名鉄瀬戸線が今年120周年を迎える、地域連携部、営業部、我々の事業所を含め、名鉄瀬戸線沿線価値向上プロジェクトとして、イベント列車を走らせたり、記念グッズを発売をさせていただいております。また、この先も複数イベントを予定しておりますが、残念ながら尾張旭市内の開催予定はないという状況です。
松本会長	<p>名鉄さんが一生懸命やってくださるのはもちろん良いことですが、自治体等、地域を巻き込むことで、さらに盛り上げていくことが大事だと思います。</p> <p>本日の議題は以上です。皆様方におかれましては、活発な御意見をいただきましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局(都市計画課長)	<p>松本会長ありがとうございました。</p> <p>また、構成員の皆様におかれましては、活発で忌憚のない御意見をいただき誠にありがとうございました。それでは、これをもちまして地域公共交通会議を終了します。ありがとうございました。</p>